原富太郎葉書ニ而昨夕か今早朝伺ニ申事ニ付、 五月七日 天気曇り、 午時頃よ り快晴致掛候、 今朝名古屋より

直ニ啓次郎 順八両人木曽川停車場迄迎ニ遣候、

元来今晩方参り候様ニ申遣候間、 其積りニ致居候

処、 俄ニ今朝之様ニ申来候間、 直二弐人遣侯、

今日午後三時過ニ原富太郎・ 番頭弐人召連候而、

次郎ト 四人車ニ而参り、 順八 ハ荷物ヲ荷ひ参侯、 今夕者

三人とも泊り、土産物色々貰請候也、

はるハ谷川江料理取ニ遣侯、 重組ニ而大分地走ス、 啓次郎

夜も取持居候而、又明朝早ク参候筈、

持参り掛色々直し物致 拙宅へ帰り泊り候筈也、岩吉人力始メ四台ニ而行 五. 今日午前ニ笠松武力屋泰市参り、 支度、 月八日 南宿 夫ゟ岐阜玉井屋泊り、 天気極吉、 馬場始メニ而竹ヶ鼻夫ゟ笠松 今朝啓次郎案内二而富太郎之一 午前小昼ノ支度致 明九日 玄関 西 ハ岐阜ゟ大垣江行、 あ 辺ヲ歩キ、 んこヲ造

日置江へ行、

昨夜富太郎ヨリ金百四十円受取候也、